

横浜型知的財産戦略推進事業記事

平成20年1月24日(木)

神奈川新聞(15)

横浜市は二十三日までに、特許権など知的財産の活用による成長が見込まれる企業二十七社を、新たに「横浜価値組企業」に認定した。ハードウェア設計のアース(神奈川

知的財産

活用し成長を

区栄町)や正月用飾り製造の飾(鶴見区鶴見中央)など、横浜市内の多様な企業が選ばれ、二十八日に認定証授与式を行う。

認定は、二〇〇七年に始ま

企業に27社

「価値組」

横浜市が新たに認定

った知的財産活用評価・格付け事業に基づくもので、昨年に続き二回目。特許権や実用新案権などを利用した経営体制や、製品の優位性を評価し、AAAからCまでの七段階で評価する。BBB以上が認定対象となる。第三回の募集は四月以降。

市は二十八日、横浜型知的財産戦略シンポジウムを開催し、二十七社への認定証授与式を開く。また、知的財産権担保融資の実情紹介や、中小企業での知的財産活用戦略を語る講演も行う。

(堀込 真里)